



わおん

多

職

種



No. 11
2024 3発行

松阪地域 在宅医療・介護連携拠点



第19回 多職種勉強会

2/28 (水) に「令和の御三家 口腔・栄養・リハで重症化予防！」をテーマに多職種勉強会を開催しました。オンライン開催で、131組の方々にご参加いただきました。

話題提供では、1部に「摂食嚥下障がい診断について」野々山耳鼻咽喉科 医師 野々山宏氏とくろい歯科クリニック 歯科医師 黒井建志氏に、2部では「摂食嚥下がいがあの方へのかかりについて」松阪地区歯科医師会口腔ケアステーション 歯科衛生士 近田紀子氏と健やか薬局認定栄養ケア・ステーションNICO 管理栄養士 溝口由佳氏に、3部では「食事を助ける福祉用具とリハビリテーション」について花の丘病院 理学療法士 森優太氏にご講義いただきました。口腔・栄養・リハ、その他の職種が点と点で繋ぎ線にしていくことができるよう多職種で関わることの大切さがわかる講義となりました。グループワークでは、それぞれの職種からの感想、連携についてなどの話題で、時間いっぱいまでお話をいただきました。短い時間でしたが、多職種それぞれの視点から、連携、情報交換、情報共有の重要性について学ぶ機会になりました。たくさんの方にご参加いただきありがとうございました。次回の勉強会は令和6年夏頃を予定しています。



いまでお話をいただきました。短い時間でしたが、多職種それぞれの視点から、連携、情報交換、情報共有の重要性について学ぶ機会になりました。たくさんの方にご参加いただきありがとうございました。次回の勉強会は令和6年夏頃を予定しています。

～参加者の方々の感想～(アンケートより抜粋)

- ・他の職種となかなかグループワークで話し合う機会がないので、とてもよかった。実際の現場の話とか、うんうんと納得できることも多かったです！点と点が繋がって線になりたいですね。
- ・嚥下評価を受けた後の関わり方、専門職の視点等具体的に聞くことができ勉強になりました。この会を通して、多職種連携を深められたらと思いました。
- ・在宅での可能性の大きさを感じました。病院から在宅へ帰る上でセラピストからの申し送り今後の可能性等話す機会も欲しいと思った。退院から在宅へ帰った場合切れ目のない連携をしたいと思う。

多職種紹介リレー

第8走目

多職種紹介リレーは、普段の関わりのきっかけづくりになることを目的に、地域の専門職の方々にリレー形式で自己紹介をいただいています。バトンは、有限会社こころ 訪問介護さすな 管理者兼サービス提供責任者中村肇様へ引き継がれました。

皆様はじめまして。ふれあいの里つじわら 管理者、生活相談員の福山浩隆さんからご紹介いただきました、有限会社こころの訪問介護事業所さすなに於て、管理者兼サービス提供責任者として従事しております、中村 肇です。

訪問介護とは、ご利用者様の自宅へ、私たち訪問介護員が訪問し、食事や排泄の介助、また、家事の支援、通院の介助などを行う介護保険サービスです。

当事業所は小規模の事業所ですが、その分、一人ひとりのご利用者様に、手厚い介護が行えるように、職員一同、日々切磋琢磨しております。今後もご利用者様に寄り添いながら、より良い介護サービスを提供できる事業所を目標に、職場の仲間と共に創り上げていきたいと思っています。



さて、私個人のことを紹介させていただきます。体を動かすことが好きで、普段からマラソンをしています。昨年の末に開催されました、松阪マラソンにて、フルマラソンに挑戦し、完走することが出来ました。フルマラソンの完走は、私の一つの夢でもありましたので、大変に嬉しい出来事でした。

また、学生の頃より、楽器演奏を趣味としており、昨年より「ロックタクロウ」というバンドにてベースを担当させていただいています。月に1回程、主に三重県内のライブハウスにて演奏をしています。曲はオリジナルです。1つの曲をメンバーと作り上げていく作業は、難しくもありますが、とても楽しいです。インスタグラム、ユーチューブにて、ライブ日程などの情報をあげておりますので、興味のある方は是非とも覗いてみて下さい。ライブハウスで待っています！！



今後、仕事も趣味も全力で頑張りたいと思います。



8走目の中村さんからバトンを受け取っていただいた方を次号で紹介いたします。お楽しみに！

松阪地域 在宅医療・介護連携拠点の活動について

連携拠点ってどういうお仕事しているの？と思われる方のために、前回のわおん第10号から引き続き連携拠点のお仕事についてご紹介します！

2018年4月、地域の在宅医療・介護を支える専門職の方々を支援する目的で開設されました。
4つの柱を中心に活動しています。

- 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- 情報共有の支援
- 地域の医療・介護の資源の把握
- 医療・介護関係者の研修



★今回は『医療・介護関係者の研修』と『在宅医療・介護連携に関する相談支援』についてご紹介します。

医療・介護関係者の研修

多職種勉強会を年2回開催しています。地域の医療・介護関係者の連携促進と、現場で活用できる勉強会の開催を目指しています。

《過去の多職種勉強会》

- ・第17回多職種勉強会（R5.3.8 オンライン開催）
「成年後見制度を知ろう！～わかりやすく教えてもらえる制度の今！～」
- ・第18回多職種勉強会（R5.8.23 オンライン開催）
「体制訪看!! 他職種との連携があってこそその訪問看護！
～松阪地域の訪問看護の今とこれから～」

※勉強会の案内、過去の勉強会のまとめは、情報共有システム「すずの輪」

に掲載しています。

参考 情報共有システム「すずの輪」
トップページ>コミュニティ>★松阪地域 在宅医療・介護連携拠点さん
>多職種勉強会

日々のお仕事に役立つ勉強会の内容になっています。
多職種のみなさまのご参加をお待ちしています。

在宅医療・介護連携に関する相談支援

医療・介護の専門職の方々から、在宅医療・介護に関する相談を受け付けています。
相談内容に応じて、情報の提供や関係機関との調整を行っています。

＜相談方法＞

電話、FAX、メール、面談、相談フォーム



問い合わせフォーム

＜相談内容＞

- ・地域の医療機関リストが欲しい
- ・往診、訪問診療をしてくれる在宅医を探してほしい
- ・入所施設を探してほしい
- ・情報共有システム「すずの輪」の手続きについて知りたい
- ・情報共有システム「すずの輪」の患者さんのお部屋の作り方について知りたい
- ・松阪地域の「高齢者の住まい」に関する情報一覧がほしい

※住民の方からの相談は、地域包括支援センターやケアマネジャー、かかりつけの医師等にご相談ください。



お知らせ 在宅医療における医療機関の機能調査について

調査結果をまとめ、情報共有システム「すずの輪」に掲載しています！往診・訪問診療をしてくれる医療機関の情報、在宅で可能な処置の内容等、専門職の方々にお役に立てる情報となっています。ぜひ、ご覧ください。

- ⚠️ かかりつけ医がおられる利用者（患者）様は、かかりつけ医とご相談の上、医療機関をお探してください。
- ⚠️ 利用者（患者）様その家族への配布はお控えください。
- ⚠️ 情報の変更がありましたら拠点までご連絡ください。

あとがき

早いもので、年度末になり、新年度がすぐそこまでやってきています。春は、新しい出会いのシーズンですね♪
新しく入職された専門職のみなさま、情報共有システム「すずの輪」のID取得をいただき、業務にご活用いただければと思います。

松阪地域 在宅医療・介護連携拠点

〒515-0076 松阪市白粉町363番地
(松阪地区医師会館1階)

TEL:0598-25-3070 FAX:0598-25-3071

メール:ks-shien@city.matsusaka.mie.jp

◇月～金 9:30～16:00◇

(祝日・年末年始を除く)